

発行 NPO 法人名古屋市腎友会 名古屋市熱田区二番2の18の24 今津ビル 201号
TEL 052.653.6480 FAX 052.653.3271 発行責任者 高橋元治 発行日 平成23年1月

平成22年度名古屋市健康福祉局との陳情

日時：平成22年11月16日（火）午前10時00分～11時00分

場所：名古屋市役所 2階会議室

立会人：久野耕平市会議員

市側：名古屋市健康福祉局

長谷川弘之局長、佐藤部長、山田部長、福士部長、近藤部長、
若杉部長、川瀬部長、立松課長、倉橋更生係長、宮沢課長

以上10名

市腎友会：加藤顧問、奥村会長、吉田副会長、高橋事務局長、
松浦編集部長、河村女性部次長、長澤組織部員、

谷尾張第4腎友会会長

以上8名

■平成22年度 陳情項目－陳情署名（5084名）

①障害者医療費助成制度の継続

②タクシーチケットの156乗車分の増発要望

③障害者雇用促進について（内部障害者の雇用を）



名古屋市健康福祉局の皆さんに挨拶をする奥村会長



長谷川局長に陳情署名を手渡す

■名古屋市健康福祉局の回答

①平成23年度の障害者医療費助成制度は、継続。

（近藤部長）財政はきびしいが、助成については十分配慮する。

②タクシーチケット36乗車増発、156乗車についてはむずかしい。

（佐藤良喜障害福祉部長）昨年7月精神障害者に対して、96乗車のタクシーチケットの配布を始めて、徐々に障害者としての充実拡大をしている。財政が厳しいので、これ以上うわずみは厳しい。

③内部障害者の特性をお伝えして、ハローワークに働きかけていきたい。

（佐藤良喜部長）障害者推進協議会をつくって、障害者の雇用について協議している。不景気で首になった人には、給付という形で頑張っていきたい。障害者雇用センターで再就職の相談。平成21年度は55名の再就職を斡旋した。企業・教育とのネットワークをさらに進めていきたい。

◎名古屋市へのお願い

先週（11/14）の第6回市民公開講座を開催し、名古屋市からは健康福祉局福祉部障害企画課課長立松博氏に来ていただきました。CKD対策の講演を名古屋大学附属病院病院長 松尾清一氏を迎えて行ないました。脱CKDををめざして行きたい。全国で慢性腎臓病患者が1300万人、糖尿病患者800万人がいます。何もしなければ、1～2年で透析になってしまう。軽い糖尿病でも危ない。小児糖尿病も多く、食育が盛んに言われる中で、わたしたちは予防医学のひとつとして、行政といっしょになって講演会、啓蒙活動を進めていきたい。今後も宜しくお願ひしたい。（加藤久夫名古屋市腎友会顧問より）